



目次一覧

目次検索

冷媒圧力別故障診断

- 目 はじめに
- 目 00-作業上の注意
- 目 0-概要
- 目 1-エンジン
- 目 2-サスペンション
- 目 3-ドライブライン/アクスル
- 目 4-ブレーキ
- 目 5-トランスミッション/トランスアクスル
- 目 6-ステアリング
- 目 7-ヒータ&エアコン/ベンチレーション
 - 目 7-作業上の注意
 - 目 注意事項
 - 目 7B-エアコン
 - 目 注意事項
 - 目 A/Cシステムについての注意事項
 - 目 A/Cシステム作業上の注意事項
- 目 系統図
 - 目 マニュアルA/Cシステム回路図
- 目 構成部品配置図
 - 目 マニュアルA/Cコントロールシステム構成図
- 目 診断
 - 目 冷房性能点検
 - 目 冷媒圧力別故障診断
 - 目 A/C症状別故障診断
 - 目 A/Cコントロールユニット及び回路点検
 - 目 ECM及び回路点検(A/Cシステム)
- 目 整備
- 目 仕様
- 目 指定材料/特殊工具
- 目 8-SRSエアバッグ&シートベルト
- 目 9-ボデー&電気リカル
- 目 10-コントロールシステム

状 態	不具合内容	推 定 原 因	処 置 方 法
<ul style="list-style-type: none"> • 低圧、高圧側ともに圧力が低い • 吹出空気温度が少し高い 	冷媒量不足	A/Cサイクルに冷媒漏れ箇所がある	<ul style="list-style-type: none"> • 漏れを点検し、必要ならば修理する • 冷媒を入れ替える
<ul style="list-style-type: none"> • 低圧、高圧側ともに圧力が高い 	冷媒量過多又はコンデンサの冷却不足	冷媒の過充填 コンデンサの冷却不足 ラジエータファン作動不良	冷媒を入れ替える コンデンサを清掃する ラジエータファンを点検する
<ul style="list-style-type: none"> • 低圧、高圧側ともに圧力が高い • 低圧側配管に触れても冷たく感じない 	A/Cサイクル内に空気が混入している	A/Cサイクル内にエアが入っている(真空引き不十分)	<ul style="list-style-type: none"> • A/Cコンプレッサオイルの汚れ及び量を点検する • 真空引きを数回確実にし、冷媒を充填する
<ul style="list-style-type: none"> • A/C作動中、低圧側圧力が負圧になったり、正常になったりする(高圧側も異常と正常を繰り返す) 	A/Cサイクル内に水分が混入している	混入した水分により、エキスパンションバルブが冷結し、一時的にA/Cサイクルが閉鎖状態になる	<ul style="list-style-type: none"> • エキスパンションバルブを交換する • 真空引きを数回確実にし、冷媒を充填する
<ul style="list-style-type: none"> • 低圧、高圧側ともに圧力が高い • 低圧側配管に霜や露が多量に付着している 	エキスパンションバルブ不良(開き過ぎ)により流量調整が適切に行われていない	エキスパンションバルブの不良	エキスパンションバルブを交換する
<ul style="list-style-type: none"> • 低圧側圧力が高く、高圧側圧力が低い • A/Cを切るとすぐに高低圧力が同じ値になる 	A/Cコンプレッサの圧縮不良	A/Cコンプレッサ内部に漏れがある	A/Cコンプレッサを点検、修理又は交換する
<ul style="list-style-type: none"> • 低圧側圧力が負圧を示し、高圧側圧力は非常に低い圧力を示している • エキスパンションバルブの前後の配管に霜や露が付着している 	冷媒が循環していない	A/Cサイクル内のゴミ、水分がエキスパンションバルブに付着したり凍結したりして、冷媒の流れを妨げている エキスパンションバルブのダイヤフラムの冷媒漏れにより、冷媒の流れを妨げている	<ul style="list-style-type: none"> • エキスパンションバルブを交換する • 真空引きを数回確実にし、冷媒を充填する
			エキスパンションバルブを交換する